

# 保健体育科学学習指導案

日 時 令和元年5月31日(金)公開授業Ⅱ  
学 級 岩手大学教育学部附属中学校  
3年D組(男子20名 女子20名)  
会 場 3年B・C教室  
授業者 高橋 走

## 1 単元名 体育理論 「文化としてのスポーツの意義」

### 2 単元について

#### (1) 生徒観

普段の体育の授業では、男女とも概ね意欲的に取り組んでいる。運動部が25名、学芸部が15名という状況で、「スポーツをすることが好きである」という問いに、「あてはまる」「ややあてはまる」に27名、「どちらともいえない」(6名)「あまりあてはまらない」(4名)「あてはまらない」(2名)という状況が見られる。「スポーツは文化的価値のあるものである」という問いに、「あてはまる」(13名)、「ややあてはまる」(10名)、「どちらともいえない」(15名)、「あまりあてはまらない」(2名)という状況が見られた。この状況から、身体を動かすこと、スポーツを行うことに対する意欲は見られるが、スポーツを行うことの意義や文化としてのスポーツの意義についての理解は、より深めていく必要があると考えられる。

#### (2) 教材観

体育理論は生徒が中学校期におけるスポーツの合理的な実践や生涯にわたる豊かなスポーツライフを送る上で必要となる、運動やスポーツに関する科学的知識を中心に構成されたものである。運動に関する領域との関連で指導することが効果的な内容については、各運動に関する領域の「知識及び技能」で扱う。また、知識と技能を相互に関連させて学習させるように、知識の重要性を一層実感できるように指導することが大切である。

体育理論の学習は第1学年で「運動やスポーツの多様性」を、第2学年で「運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方」を、第3学年で「文化としてのスポーツの意義」を行うこととなっている。今次の改訂では、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成するため、この体育理論の内容が、「知識」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で構成されている。

これらの体育理論での学習を基にして、生徒が思考し、判断し、表現する活動を通して、体育の見方・考え方を育み、現在と将来の自己の適性に応じた運動やスポーツとの多様な関わり方を見付けられるようにすることが重要である。

今回の授業の「文化としてのスポーツの意義」では、現代の生活でスポーツの文化的意義が高まってきていること、国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割が重要になってきていること、文化としてのスポーツが人々を結びつける重要な役割を担っていることなどを理解できるよう単元を構成した。

体育理論での主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する立場から、生徒に必要な知識の定着を図る学習とともに、生徒の思考をより深めるために、教師の側から発言を促したり、気付いていない視点を提示したりするなどして、生徒の学習状況を捉えて指導を改善していくことが大切である。体育理論の学習により、生徒の豊かなスポーツ実践への意欲を高める上で極めて有効であると考えられる。

#### (3) 教科研究との関わり

##### ① 保健体育科の見方・考え方を働かせる問題解決的な学びのプロセス

学習指導要領において、「体育の見方・考え方」については、「運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること」としている。その「見方・考え方を働かせる学びのプロセス」として以下の5つの視点に重点を置く。

- I 課題を把握すること。
  - ・目指す動きと自己の動きの比較による複数の「違い」を把握すること。
  - ・目指す動きと自己の動きの違いをとらえ、改善すべきポイントを見付けること。
  - ・目指す動きに近づけるためにもっとも重要だと考えられるものを見付け出し、それを課題として設定すること。
- II 自己の課題を改善できる練習を選択すること。
  - 運動実践の場面で、自己の課題に応じて適切な練習を選ぶこと。
- III 学習した知識や技能を活用して、自己や仲間の課題に応じて解決すること。
  - ・お互いに出来映えを相互評価し、よりよいものを目指すこと。
  - ・作戦などの話し合いの場面で、合意形成するための適切な関わり方を見付けること。
  - ・思考、判断したことを、根拠を示しながら相手に伝えること。
- IV 自分の学びを振り返ること。
  - ・学習を振り返り、どのような力が身に付いたかということを見直し、次の場面に役立てること。
- V 運動の特性をとらえること。
  - ・各種目の運動のそのものの本質的な価値をとらえること。

② 学びの自覚化

単元を通して、振り返るべき内容を整理し、視点に沿って振り返りを書かせそれに対して教師がフィードバックするような工夫をすることで、生徒にメタ認知させ、次の学習につなげていく。振り返りの視点としては、次のようなものがある。

- ア 単元前半、中盤、後半の学習の中で、何がわかったか、何ができるようになったか。(思考力等)
- イ 仲間と協働して解決した場面で、仲間の発言で自分の感覚、行動が変わった点はどこか。(協調性等)
- ウ 単元学習の学びが、今後の学習や他教科・日常生活のどんなところに生かせることができるか。(主体性等)

③ 真正な学びの場の設定

「共同して楽しむ」という共生の視点で、仲間とかわりながら意欲的に課題解決できること、Try and Errorをしながら粘り強く取り組む姿勢が養われることを実感させ、自分もやればできるという自信を持つ体験を積み重ね、自己肯定感の高まる場を設定する。また、共生の視点から、スポーツを文化的にとらえる意義やその種目を体感するなど、「する・みる・支える・知る」のつながりを実感できる場を設定する。

### 3 単元計画

(1) 育成を目指す資質・能力

- ・課題解決に向けて、知識を活用し、基本的な技能を身に付け、運動の取り組み方を工夫し、運動を継続して楽しむための自己の適したかわり方を見付ける力。(思考力等)
- ・多様な他者の意見に耳を傾け、知恵を持ち寄って共通の課題を達成していく力。(協調性等)
- ・自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、粘り強く取り組む力。(主体性)

(2) 指導目標

文化としてのスポーツの意義について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- 文化としてのスポーツの意義について理解すること。(知識)
  - ・スポーツは、文化的な生活を営みよりよく生きていくために重要であること。
  - ・オリンピックやパラリンピック及び国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。
  - ・スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていること。
- 文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。(思考力、判断力、表現力等)
- 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むこと。  
(主体的に学習に取り組む態度)

### (3) 評価規準

知識	<p>①現代生活におけるスポーツの文化的意義について、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割について、言ったり書き出したりしている。</p> <p>③人々を結びつけるスポーツの文化的な働きについて、言ったり書き出したりしている。</p>
思考判断表現	<p>①文化としてのスポーツの意義について、習得した知識や集めた情報から、運動・スポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自分の課題を見付け、見付けた課題のよりよい解決に向けて、考えたことを整理している。</p> <p>②文化としてのスポーツの意義について、習得した知識や集めた情報から、運動・スポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自分の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。</p>
主体的に取り組む態度	<p>①文化としてのスポーツの意義について、学習ノートの記述、情報収集、自分の考えを整理すること、意見交換、学習の振り返りなど、深い理解に向けた活動や思考・判断・表現する活動に自主的に取り組もうとしている。</p>

## 4 単元の指導計画・評価計画

### (1) 指導計画 (4時間)

時数	学習内容	活動内容
1	<p>○現代スポーツにおけるスポーツの文化的意義</p> <p>・現代生活におけるスポーツは、生きがいのある豊かな人生を送るために必要な健やかな心身、豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会を提供する重要な文化的意義をもっていること。(知識①)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「Sports」にはどんな意味があったか？その語源、変遷、定義について1年時の既習事項を振り返る。</li> <li>3つのキーワード「健やかな心身」、「豊かな交流」、「自己開発」を基に、今まで経験したことのあるスポーツと関連付けたり、将来やってみたいスポーツを挙げてみたりする(個人ワーク、グループシェア、全体発表)</li> </ul>
2	<p>○国際的なスポーツ大会が果たす文化的な意義や役割</p> <p>・オリンピック、パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会などは、世界中の人々にスポーツのもつ教育的な意義や倫理的な価値を伝えたり、人々の相互理解を深めたりすることで、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていること。(知識②)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クーベルタンやグッドマンに関する資料、オリンピック憲章などオリンピック・パラリンピックの成り立ちに関する内容から、オリンピック・パラリンピックやその他の国際大会が果たす役割について理解する。</li> <li>スポーツのもつ教育的意義、倫理的価値、人々の相互理解、国際親善、世界平和という視点から、グラフ(参加国数の推移)や写真(オリンピック表彰台での黒手袋、W杯ゴール後の領土アピール)などについて意見交換する。</li> </ul>
3	<p>○パラリンピックの種目を体感する。</p> <p>・国際パラリンピック委員会が公認する「I'm POSSIBLE」を使用し、パラリンピックに関する基礎的知識及び実際の競技の魅力を知ることが目的とする。『I'm POSSIBLE』には、『不可能(Impossible)だと思えたことも、ちょっと考えて工夫すれば何でもできるようになる(I'mpossible)という、パラリンピックの選手たちが体現するメッセージを受け取り、今ある力を最大限生かして人生をよりよいものにしようとする姿勢を体感しながら学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴールボール</li> <li>ボッチャ</li> <li>5人制サッカー(ブラインドサッカー)</li> </ul>
④	<p>○スポーツには民族や国、人種や性、障害の有無年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結びつける文化的な働きがあること。(知識③)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのスポーツ経験、VTR(2017年英仏サッカー親善試合前のセレモニー)、写真(礼、握手、ハグ、応援、ノーサイド、セレモニー)などを踏まえて、多様なスポーツを通して様々な</li> </ul>

		<p>違い（民族、人種、性、障害、地域、風土など）が結び付くことを理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなスポーツ大会・イベント（スペシャルオリンピックス、全国スポレク際、ニュースポーツEXPO、市民スポーツフェス、町の盆踊りなど）があることを知り、スポーツは人生を豊にする上で重要な役割を果たしてくれることを踏まえて、今後の自分を想像し、発表し合う。</li> </ul>
--	--	---

(2) 単元構造図による指導内容と学習の流れ、評価機会の計画

		1	2	3	④
学習の流れ	つかむ	今日の学習内容の確認			
	↓ 深める	「Sports」の語源、定義、振り返り	オリンピックや国際スポーツ大会の意義や価値観	パラリンピックの基礎、意義について	多様なスポーツを通して様々な違いが結び付くこと
	↓ まとめる	「豊かな人生」「交流」「自己開発」とスポーツを関連付ける	人々の相互理解を深め、国際親善、世界平和への役割	パラリンピックの種目を体感し、気付いたことを交流する	自分とスポーツの関わりについて想像し発表する。
		学習の振り返り 次時の学習確認			
指導と評価の機会	知識	文化としてのスポーツの意義について理解している。			
		①現代生活におけるスポーツの文化的意義について 評価①	②国際的なスポーツ大会が果たす文化的意義・役割 評価②		③人々を結び付けるスポーツの文化的働き 評価③
主体的に学習に取り組む態度	思考・判断・表現	文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。			
		①スポーツとの関わり方についての自分の課題を見付ける 評価①		②スポーツとの関わり方について、自分の意見を他者に伝えている 評価②	
		文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組もうとしている。			
		①文化としてのスポーツの意義について、深い理解に向けた活動や思考・判断・表現する活動に自主的に取り組む。 → 評価①			

## 5 本時について（4/4 時間）

（1）主 題 体育理論 「文化としてのスポーツの意義」

### （2）指導目標

- ・スポーツは、民族や国、人種や性、障害の違いなどを超えて人々を結び付けていることについて、理解することができるようにする。（知識③）

### （3）評価規準

- ・人々を結びつけるスポーツの文化的な働きについて、言ったり書き出したりしている。【知識③】

### （4）指導の構想

豊かなスポーツ実践につながる、単元の学びを活かしたスポーツとの関わり方を一人ひとりが具体的に見いだせるようにしたい。また、単元の学びから、普段の実技の内容と体育理論の関連性に気付き、体育理論での学びとこれからのスポーツとの向き合い方に、関わりの幅が広がるようにしたい。導入では、前時までの学習を振り返りながら、スポーツの意義について、今までの学びから想起させたい。展開では、「スポーツでつながる〇〇」というキーワードを考えさせたい。「キーワード」を整理しながら、「人々を結び付ける」という分野に関連したキーワードに触れながら、本時の課題「人々を結び付けるスポーツにはどのような働きがあるか」を意識させたい。ここで、「スポーツはどんな役割を果たしていると考えられるか」と発問し、スポーツの効果、持っている力に触れながら、スポーツのどのような効果からつながっているのかを整理する。次に、映像、生徒とのやりとりから、多様なスポーツを通して様々な違い（民族、人種、性、障害、地域、風土など）が結び付く文化的な働きについて、今までの学びを生かして関連付けて説明できるようにしたい。次にさまざまなスポーツ大会、イベントを紹介しながら、「どのようなスポーツで、どのような人々を結び付けているか」を確認することでさらに理解を深めていきたい。まとめでは「私の今後のスポーツへの関わり方」として、どこで、どんな人と、どんなスポーツをどのように関わっていききたいか、考えさせたい。それらを、仲間に伝え合う中で、スポーツとの関わりの視点を増やし、スポーツは人生を豊にする上で重要な役割を果たしてくれることを理解させたい。

(5) 本時の展開

段階	学習活動および学習内容	時間 (分)	指導上の留意点および評価 ・指導上の留意点 ○評価
導入	1 既習事項の確認、前時までのまでの学びを想起する。 2 本時の学習のねらいを確認する。	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの単元の学びを振り返る。前時のポッチャやブラインドサッカーの様子を実際に見て、想起させる</li> </ul>
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>人々を結び付けるスポーツには、どのような働きがあるか</b> </div> 3 スポーツの力、効果について考える。 ①「スポーツでつながる○○」にあてはまる言葉をイメージして考える。 ②「スポーツはどんな役割を果たしているか」について考える。 ③「どのような目的でつながっているのか」について考える。 ④グループでキーワードを目的ごとにおいて、全体で交流する。 4 VTR、写真資料（さまざまなスポーツ大会、イベント）から今までの学びと関連付けて説明する。 （さらに、深める、広げる資料の提示） 5 人々を結び付けるスポーツの働きを踏まえ、自分の今後のスポーツへの関わり方についてまとめる。	40	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツは国の違いを超えて人々を結び付ける働きがあることをおさえる</li> <li>どのようなスポーツで、どのような人々を結び付けているかをおさえる</li> </ul> ○学習活動の観察や学習シートの記入状況から、多様な人々を結び付けるという学習内容を踏まえた自分の考えを伝えているかを評価する。
終結	7 本時の学習を振り返りまとめを行う。 ・今日のまとめを学習シートに記入する。 ・体育理論の学びと実技での学びの関連について学習シートに記入する。	5	○人々を結びつけるスポーツの文化的な働きについて、言ったり書き出したりしているかを評価する。